

春のオフ会で活躍

会員交流



前列右より カツオ:杉野 サザエ:クルミ コンブ:保坂
後列 ワカメ:金子 タラ:まるちゃん 波平:高木 マスオ:太田
アサリ:高山 フネ:平岡 プリオ:寺崎

ネットを飛び出した人気者
サザエしゃん一家

皆さんへ、久留米んサザエしゃんより

昔話ばかりの会で活動中、施設のお年寄りの方や小さな子供達にも、久留米弁を楽しんでもらえるようにと、みんなが知っていて親しみのあるキャラクターのサザエさんを元に「久留米んサザエしゃん一家」が誕生しました。

久留米弁を、昔話の語りべや、久留米弁の歌を通じて、施設訪問では懐かしいと喜んで頂き、子供達には言葉の文化として伝えていきたいと思っております。今後とも「久留米んサザエしゃん一家」どうぞ宜しくお願いします。
(丸山まつみ)

第5回ゆにばひろば

地域交流

久留米大学御井学舎を開放し、市民との交流を図るフェスタ「第5回ゆにばひろば」が7/2に行われます。SNKは第1回から「昔遊びを子供たちに伝えよう」との趣旨で、参加してきました。昔遊び(コマまわし、竹とんぼづくり、竹馬、紙飛行機、ケンダマ…など)に応援参加し、時代が忘れてきた昔懐かしい遊びを再現し、シニア・学生・子どもたちが体験するものです。

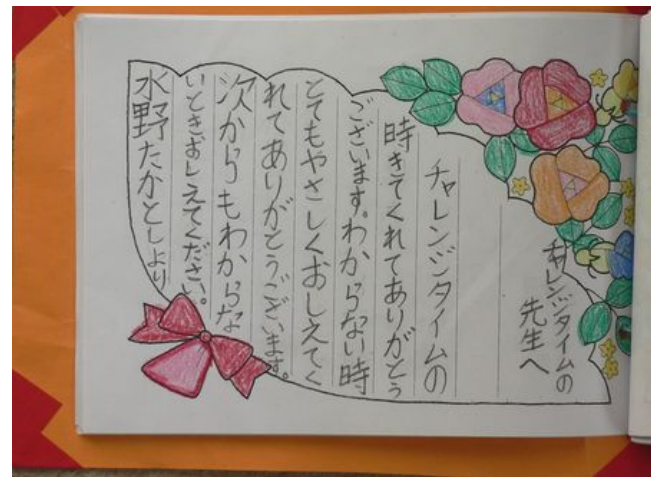
前回に次いで「サザエしゃん一家」がステージに出演します。一家の出演は会場を沸かせどよめきが暫く絶えなかった、参加者に大きな感動を与えた、ことをお知らせします。
(理事 島井新一郎)



2010年、ゆにばひろばで昔遊びを楽しむ子どもたちとみなさん

京町小学校では／教育支援グループ

母校でお手伝いをしています 徳永和弘



子どもたちからのプレゼントは、私の大事な宝物です

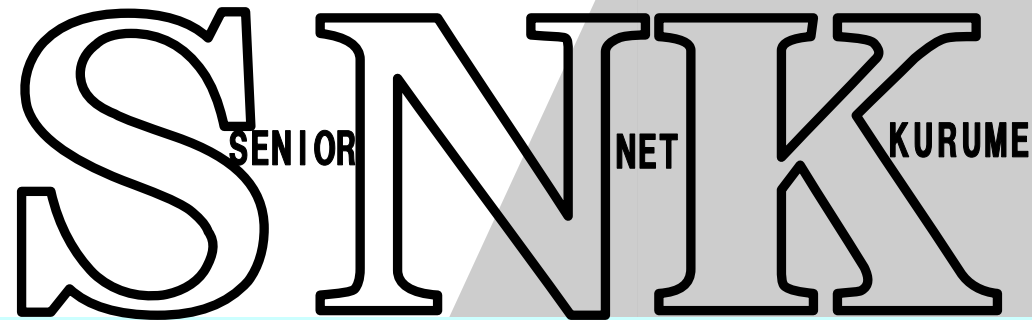
昨年、創立百周年のお祝いをした京町小学校 36 回卒業生(昭和 22 年卒)の私は、SNK 会員として、卒業以来 全く出入りの無かった母校に、しかも教室に入るようになりました。2・3 年生の算数授業のお手伝いです。

未だ学校生活にも充分馴れていない幼い 2 年生たちが、小さな手の指を折り曲げながら「32-17=?」などの引き算の問題に取り組んでいる姿を目の当たりにすると、70 年もの前の自分の小学校生活が思い出されます。

入学した昭和 16 年に国民学校に名を改め、卒業の年に元の小学校に返ったので、時折学友とは「俺らは小学校は出ていない」と冗談を言い合うのですが。運動場を見ればサツマイモ畑に耕したりした事を思い浮かべ、焼け残った講堂を 4 つに区切った教室での、騒然とした 2 部授業などが思い出されます。

忘れもしないのは、卒業式後に始めてにして最後の学校給食を食べた事。毎日すきっ腹を抱えていた時代には、あの肉じゃがの味は忘れようとしても忘れられないモノでした。昔を思い出しながら、今の伸びやかな生活を愉んでいる児童たちが、これからは健康で生き生きとした生活ができる世の中であって欲しい、と願わずには居れません。

(あとがき) 台風 5 号は真夏日を日本列島にもたらし、久留米も湿度の高い風が吹く。前線が大陸の北へ去り南九州は約 3 週間早い梅雨明けとなる。東電の原発事故は、各地原発の安全性確認が急がれている。電力不足が懸念され節電の話は、庶民の知恵としてゴーヤ栽培で日陰の簾を作る。(式)



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

「第 11 期通常総会 新しい年度へ向けて」 事務局長 金子忠次

新年度が始まり、事業計画で予定した念願のウィンドウズ 7 ノート型パソコンが導入されました。これを期に魅力ある講座の開拓に取り組みます。また、拡大を続ける「農園事業」「久留米市教育支援ボランティア」、筑後の歴史文化を伝える「花咲きプロジェクト」、筑後川を守る地元保存会支援の「流し灯籠」など、地域貢献と会員活動は切り離せないところまで育っています。

さて、今年度の SNK 通常総会に於いて、定款の一部の変更が審議され承認されました。議事録が SNK ホームページに掲載されていますので、ご覧になっていると思いますが、大事な事項ですから、改めてこの点についてお知らせします。(http://www.snk.or.jp/about_snk/soukai.html)

定款の変更点

(1) 会員の種別について(定款第 6 条)

従来は個人の会員は「正会員」と「賛助会員」の 2 種類に分かれていました。

しかし、多くの会員の方々からその違いがよくわからない、意味がないのでは? というご意見を伺っていました。当初の目的は、有料、無料の会員の区別、総会の定数確保等が主なものでしたが、ここ数年の状況をみますと、もはや会員の種別は必要ないと思われれます。昨年の総会でのご意見も踏まえて、今年度から区別を廃止することにしました。従いまして、現在の会員および今後新たに入会する会員はすべて「正会員」になります。「賛助会員」は企業・団体のみとなります。

(2) 総会の定足数について(定款第 25 条)

上記の会員種別の廃止に伴い、総会の定足数を従来の「正会員数の 3 分の 1 以上」から「正会員数の 4 分の 1 以上」に変更致します。主として総会の定足数確保の意味合いがあります。

なお、定款の変更は、県知事の認証事項でありますので、上記の定款変更は正式には認証が下りてからとなります。

通常総会、午後からは恒例の新人交流会が盛大に行われました。3 月に発生した東日本大震災に、SNK として初めて取り組んだ「被災者支援街頭募金活動」では、多額の浄財を日本赤十字社へ寄託することが出来ました。会員の自主的な発意と助け合う活動、SNK を支える皆さんに感謝します。



5月の定常総会、中央議長席は今津理事長、左右に小島・中丸副理事長、その隣で立ち上がり発表する金子事務局長

NPOシニアネット久留米は 時代のニーズ、地域の誇りとして活躍 第2期～第3期 特集 全国から訪問者 2001～2002 年度 思い出、追憶編

「私達はSNK12年の歴史をSNKホームページにUPする」企画に取り組んでいます。この特集は、SNKが組織されて初期数年間の歴史を取り上げています。皆さんの声を編集局にお寄せください。
第1～2期(2001～2002)は、日本全国から訪問者を迎えた時代です。(資料他の記録は、会員諸氏のHP、記録写真他を活用しています)
参考：広報 Vol.20 2008.10.22 発行：特集 SNK10 年史

エピソード1 ロイ小川さん

勤務が不規則で一般の教室には続けては行けない。行ける日のPC無料教習がきっかけの入会だった。その後、ダンス教室に美味かもんば食う会と遊び場も設定してもらったようなものだ。自分が積んで来たキャリアもSNK内部では結構役に立っていると思う。SNKは退職後の社会との接点です。(小川恭一)

エピソード2 野田嘉孝さん

平成13年春入会するとすぐに「IT講習会」がはじまり、講師をすることになりました。事前の教育が何回もあり勉強になりましたが、中でも先輩会員達からの講師心得は、接客の礼儀、公平を繰り返し説かれ未だに私の人生訓としております。

エピソード3 原良直さん

振り返ってみると、思い出す事は良いことも悪いこともいろいろ。六ッ門・百年公園の時代は事務局・経理のお手伝いをしていました。この期間に3人の先輩に感化された。ゆるぎない情熱や培った自信、魅力ある人間力、出会いを大切に学ぶことの多い人生ですから。

エピソード4 江口廣さん

新聞によってSNKの存在を知り入会。先輩をお手本にパソコン教室を約1年。貴重な体験をつんだ。その後、仕事のため活動できなかったが、今、自由に新たな出会いを楽しみに少しずつ。先は長い。

エピソード5 小林尚子さん

私のPCライフはSNK発足と同時に始まりました。PCをとおし学ぶ喜びと難かさを痛感しSNKHHPへ参加。サークル「山歩くらぶ」の登山は生きがいで現在も続けています。10余年の歳月は楽しかったことも走馬灯のごとく浮かびます。

エピソード6 鹿子島節さん

会員のNさんとKさんの勧めで1999年3月入会。思い出深いのは、荘島プラザオープンのため、数日ゴミまみれになって大掃除したこと。サークルの「山歩くらぶ」も楽しかった。今はチッゴ・アミーゴスで楽しんでいます。素晴らしい出会いの多いSNKです。

エピソード7 辻スミ子さん

SNKで学び遊んだ記憶、デジタルアーカイブでガリ版刷りの冊子「大城村郷土読本」のデジタル化。二人一組で数十頁を交換し合い、何度も校正しました。毎日パソコンにとらめっこ大変な作業でした。また、「山歩くらぶ」の山行、毎月楽しみでした。アケボノツツジ、ヤマシャクヤク等々、本当に綺麗でした。



写真1、パソコン講座のマスコミの取材を受ける。2、津福サロンにて、七夕を楽しむ織姫たち。3、インターネットフェスティバルで出展、SNKコーナーで、遊びや楽しみに各人個性を發揮



- 2001 4.06 荘島プラザ発足会、及び披露パーティ
 - 2001 4.23 MIDI教室開始
 - 2001 5.13 東京ミニオフ会
 - 2001 6.06 USAシニアネット アン・リクソン氏来館
 - 2001 9.11 第0回コーチ養成講座
 - 2001 9.28 「はぜの木」IT講習会開始
 - 2001 11.13 商店従業員IT講習会
 - 2002 4.27 デジタルアーカイブ研究会 発会式
 - 2002 5.04 シティFM放送「シニア情報プラザ紹介」
 - 2002 6.10 シニアネット久留米新事務局開設
 - 2002 7.02 SNK Webmaster 開設:エースーケン
 - 2002 8.01 新ホームページ”筑後の国のデジタルシニア”開設
 - 2002 8.21 西日本新聞社デジタルアーカイブ取材
 - 2002 8.23 熊本学園大学講師 SNK取材
 - 2002 10.10 韓国シニアネットとの交流会
 - 2002 12.12 中日新聞名古屋本社生活部「取材来訪」
- 備考：マスコミ取材関係、右の欄は期間内訪問者の一部



シニアネット久留米の先駆的な活動がマスコミに取り上げられ、全国へ紹介された。訪問者が増え、サークル活動も次々と誕生、青年のように楽しんだ時代です。

- ★熊本シニア理事会「来訪」
- ★都城市議会「来訪」
- ★福井県坂井町役場「来訪」その他3件
- ★滋賀県商工会議所「来訪」
- ★電通・群馬商工労働部・リクルート「来訪」他3件
- ★大牟田市中央公民館「来訪」
- ★聖マリア病院・防府青年会議所「来訪」
- ★日本専門店会「来訪」
- ★北海道商店街振興会「来訪」
- ★全国商店街振興会「来訪」
- ★シニアネット名古屋「来訪」
- ★福岡県議会、県職員、市職員「来訪」
- ★福岡県職員「来訪」
- ★坂井市役所「来訪」
- ★四国産業技術センター「来訪」
- ★大阪府議団「来訪」
- ★社団法人日本青年会議所九州地区協議会「来訪」
- ★財団法人えひめ地域政策研究センター「来訪」
- ★e-ふるさと財団実情調査チーム「来訪」
- ★福岡県ねんりんピック室、ねんりん文化祭の件で「来訪」
- ★武田薬品、久留米大学医学部、「来訪」
- ★福岡県生活文化課高崎係長、公募事業の件で「来訪」
- ★豊田市高橋交流館清水主事視察「来訪」
- ★シニアネット交流会イン門司7名「来訪」
- ★県民ボランティア総合センター孝富士氏「来訪」
- ★大阪老人大学62名来訪、交流会(BSクラブ)
- ★上陽町まちづくり推進課荒川編集長、取材に「来訪」
- ★久留米商工会議所松隈課長「取材来訪」
- ★九州大学院生、卒論取材の為「来訪」
- ★クロレラ工業隈本・田中氏、「来訪」
- ★鹿児島県始良町退職校長会一行18名見学「来訪」
- ★インターネットウキウ原部長 Yahooの件で「来訪」

エピソード8 カルメンさん

ゆっくり気楽な気持ちで平成10年に入会、講座は火曜の相談や金曜に音楽の取り込みなどを学びボランティアやビジネスのオリジナルラベルを作り、楽しいのは写真を使ったカードや合成・・・ついにんまりしてやめられません！また、オフ会では高嶺の偉い先生ともお話でき有意義で親近感があります。気張らず、頑張らず、身の丈でSNKの大船に乗った気持ちで講習に参加しています。こんな私ですが「継続は力」でどこかに底力が出てきたかも？(^o^)

エピソード9 井上栄子さん

平成14年と15年の今風＝会員交流会はとても賑わい大盛況でした。私が特に印象深いのは、高良山から貰った金明竹を手作りで加工した、竹の楽器バンブーです。インドネシアの楽器を真似て大小さまざまな竹の楽器がそれぞれに素敵な音を奏でて、その音のハーモニーの爽やかだったこと。尺八の音色でもなく、何とも心を揺さぶるいい音でした。私はシャルウィ・ダンスのサークルに所属しました。



久留米山岳会

【会事務局】
〒830-0059 久留米市江戸屋敷2丁目14-28 亀川行治
TEL 0942-37-4919
FAX 0942-37-4919
携帯TEL 090-2085-2671
携帯Eメールアドレス kurume.dongame@ezweb.ne.jp



839-0809
久留米市東合川3丁目10番36号
Tel 0942-44-5800



株式会社 西日本企画サービス